



平成 19 年 3 月期 第 1 四半期財務・業績の概況（連結）

平成 18 年 7 月 31 日

上場会社名 株式会社 ツカモトコーポレーション (コード番号：8025 東証 1 部)
(URL <http://www.tsukamoto.co.jp/>)

問合せ先 代表者役職・氏名 代表取締役社長 瀬川 健次
責任者役職・氏名 常務取締役 三宅 紀行 TEL：(03) 3279-1310

1. 四半期財務情報の作成等に係る事項

①会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 有

(内容)

税金費用につきましては、法定実効税率をベースとした年間予測税率を用いた簡便な方法を採用しております。その他影響額の僅少なものにつきましても、簡便な方法を採用しております。

②最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 無

③連結及び持分法の適用範囲の異動の有無 : 無

2. 平成 19 年 3 月期第 1 四半期財務・業績の概況（平成 18 年 4 月 1 日～平成 18 年 6 月 30 日）

(1) 経営成績（連結）の進捗状況 (百万円未満切捨)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期(当期)純利益
	百万円 %	百万円 %	百万円 %	百万円 %
19 年 3 月期第 1 四半期	7,336 8.5	460 126.9	464 149.5	198 289.8
18 年 3 月期第 1 四半期	6,760 △6.5	202 —	186 —	50 —
(参考)18 年 3 月期	30,088	1,294	1,270	455

	1 株当たり四半期(当期)純利益	潜在株式調整後 1 株当たり四半期(当期)純利益
	円 銭	円 銭
19 年 3 月期第 1 四半期	6 88	6 85
18 年 3 月期第 1 四半期	1 77	— —
(参考)18 年 3 月期	15 84	— —

(注) 売上高、営業利益等におけるパーセント表示は、対前年同四半期増減率を示す。

[経営成績（連結）の進捗状況に関する定性的情報等]

当第1四半期におけるわが国経済は、企業収益の拡大が設備投資や個人消費を押し上げ、また雇用情勢も改善に向かうなど景気回復の局面が続きましたが、原油価格の高騰や金利の上昇等、先行き懸念材料が出てきました。

このような環境のなか、当社グループは2006～2008年度を計画期間とする新中期経営計画「グループ3ヵ年計画」を発表し、各社の収益体制の確立とグループの全体最適追求の経営を実践して行くことにしました。この「進化する分社経営」により、「恒常的に収益のあがるオンリーワン企業グループ」の確立を目指して、新たなスタートを切りました。

当社グループの種類別セグメントの状況は以下のとおりです。

和装事業のツカモトは組織の一元化をさらに進めて効率化を図り、ツカモト札幌は大型催事の採算向上に努めました。以上の結果、当事業分野の売上高は26億8千2百万円となりました。

洋装事業のツカモトユーエスは大型物件の受注が大きく寄与し、ツカモトアパレルは夏物商品の開発、ツカモトファッションはOEM事業の確立にそれぞれ注力しました。以上の結果、当事業分野の売上高は22億6千万円となりました。

陳列用器具の賃貸業のアディスマ्यूズは内装工事の受注が復調し、売上高は13億1千4百万円となりました。建物の賃貸業は堅実に推移し、売上高は1億7千万円となりました。その他事業のツカモトエイムは健康機器の拡販が大きく寄与し、また研修センター運営事業は顧客の開拓に努めました。以上の結果、当事業分野の売上高は9億9百万円となりました。

この結果、当社グループの第1四半期の連結売上高は前年同期比で8.5%増加の73億3千6百万円、経常利益は4億6千4百万円、四半期純利益は、1億9千8百万円となりました。

(2) 財政状態（連結）の変動状況

(百万円未満切捨)

	総 資 産	純 資 産	自己資本比率	1株当たり 純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
19年3月期第1四半期	36,257	12,348	24.6	305 92
18年3月期第1四半期	32,981	6,850	20.8	238 75
(参考)18年3月期	36,655	9,297	25.4	324 09

【連結キャッシュ・フローの状況】

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等 物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
19年3月期第1四半期	△465	7	831	5,516
18年3月期第1四半期	—	—	—	—
(参考)18年3月期	780	△634	△305	5,143

(注) 平成19年3月期第1四半期より開示しているため、前年同四半期実績の記載は省略しています。

[財政状態（連結）の変動状況に関する定性的情報等]

①財政状態の変動状況

当第1四半期における総資産は、現金及び預金が3億7千3百万円の増加、商品仕入れの季節要因により、たな卸資産が7億5千6百万円増加しましたが、受取手形及び売掛金が5億8百万円減少し、また株価の下落により投資有価証券が9億8千7百万円減少したため、前連結会計年度末に比べ3億9千8百万円減少の362億5千7百万円となりました。

純資産は、その他有価証券評価差額金が 5 億 8 千 1 百万円減少しましたが、利益剰余金が 1 億 1 千 1 百万円の増加、小数株主持分が 6 千 8 百万円増加したため、123 億 4 千 8 百万円となりました。

②キャッシュ・フローの状況

営業活動によるキャッシュ・フローは 4 億 6 千 5 百万円の減少となり、これは主に、たな卸資産の増加と法人税等の支払額の増加によるものであります。

投資活動によるキャッシュ・フローは 7 百万円の増加となり、財務活動によるキャッシュ・フローは 8 億 3 千 1 百万円の増加となり、これは主に、預り担保金の受入による収入によるものであります。

○ 添付資料

(要約) 四半期連結貸借対照表、(要約) 四半期連結損益計算書など

以 上

[参 考]

平成 19 年 3 月期の連結業績予想（平成 18 年 4 月 1 日～平成 19 年 3 月 31 日）

	売 上 高	経 常 利 益	当 期 純 利 益
	百万円	百万円	百万円
中 間 期	14,500	650	235
通 期	30,000	1,400	400

(参考) 1 株当たり予想当期純利益（通期） 1 3 円 7 2 銭

[業績予想に関する定性的情報等]

連結の業績予想につきましては、平成 18 年 5 月 23 日付の発表予想に変更はありません。

※業績予想は、発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

(要約) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円未満切捨表示)

期 別 科 目	当四半期	前四半期	対前四半期増減額	(参考)
	(平成19年3月期第1四半期末)	(平成18年3月期第1四半期末)		平成18年3月期
	金 額	金 額	金 額	金 額
(資 産 の 部)				
流 動 資 産	15,320	15,161	158	14,696
現 金 及 び 預 金	5,516	5,179	336	5,143
受 取 手 形 及 び 売 掛 金	5,295	5,143	151	5,803
有 価 証 券	100	100	0	100
た な 卸 資 産	3,740	4,077	△ 337	2,984
繰 延 税 金 資 産	243	267	△ 23	243
そ の 他 の 流 動 資 産	457	421	36	447
貸 倒 引 当 金	△ 33	△ 27	△ 5	△ 26
固 定 資 産	20,937	17,819	3,118	21,958
有 形 固 定 資 産	12,372	12,505	△ 132	12,412
建 物 及 び 構 築 物	3,067	3,201	△ 133	3,110
土 地	9,199	9,199	0	9,199
そ の 他 の 固 定 資 産	105	104	0	102
無 形 固 定 資 産	37	17	19	37
投 資 そ の 他 資 産	8,527	5,296	3,231	9,507
投 資 有 価 証 券	7,881	4,928	2,953	8,868
繰 延 税 金 資 産	47	35	11	46
そ の 他 の 投 資 等	716	516	199	723
貸 倒 引 当 金	△ 117	△ 184	66	△ 131
資 産 合 計	36,257	32,981	3,276	36,655

(要約) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円未満切捨表示)

期 別 科 目	当四半期 (平成19年3月期第1四半期末)	前四半期 (平成18年3月期第1四半期末)	対前四半期増減額	(参考) 平成18年3月期
	金 額	金 額	金 額	金 額
(負 債 の 部)				
流 動 負 債	17,332	15,566	1,765	16,917
支 払 手 形 及 び 買 掛 金	6,368	6,553	△ 185	6,654
短 期 借 入 金	7,149	5,693	1,456	7,170
未 払 消 費 税 等	63	48	15	52
未 払 法 人 税 等	194	64	130	372
預 り 担 保 金	2,990	2,535	455	2,086
返 品 調 整 引 当 金	68	85	△ 16	55
そ の 他 の 流 動 負 債	497	587	△ 89	525
固 定 負 債	6,576	7,511	△ 935	7,088
長 期 借 入 金	1,647	3,417	△ 1,770	1,740
繰 延 税 金 負 債	3,127	2,246	881	3,512
連 結 調 整 勘 定	12	23	△ 10	15
再評価に係る繰延税金負債	3	3	0	3
退 職 給 付 引 当 金	995	951	44	987
役 員 退 職 金 引 当 金	203	196	7	215
そ の 他 の 固 定 負 債	586	674	△ 87	614
負 債 合 計	23,909	23,078	830	24,005
(少 数 株 主 持 分)				
少 数 株 主 持 分	—	3,051	—	3,351
(資 本 の 部)				
資 本 金	—	2,615	—	2,615
資 本 剰 余 金	—	844	—	844
利 益 剰 余 金	—	2,236	—	2,641
土 地 再 評 価 差 額 金	—	4	—	4
株 式 等 評 価 差 額 金	—	1,276	—	3,320
自 己 株 式	—	△ 127	—	△ 129
資 本 合 計	—	6,850	—	9,297
負債、少数株主持分及び資本合計	—	32,981	—	36,655

期 別 科 目	当四半期	前四半期	対前四半期増減額	(参考) 平成18年3月期
	(平成19年3月期第1四半期末) 金 額	(平成18年3月期第1四半期末) 金 額	金 額	金 額
(純 資 産 の 部)				
株 主 資 本				
資 本 金	2,615	—	—	—
資 本 剰 余 金	885	—	—	—
利 益 剰 余 金	2,752	—	—	—
自 己 株 式	△ 76	—	—	—
株 主 資 本 合 計	6,177	—	—	—
評 価・換 算 差 額 等				
そ の 他 有 価 証 券 評 価 差 額 金	2,739	—	—	—
土 地 再 評 価 差 額 金	4	—	—	—
評 価・換 算 差 額 等 合 計	2,744	—	—	—
新 株 予 約 権	7	—	—	—
少 数 株 主 持 分	3,419	—	—	—
純 資 産 合 計	12,348	—	—	—
負 債 及 び 純 資 産 合 計	36,257	—	—	—

(要約) 四半期連結損益計算書

(単位：百万円未満切捨表示)

期 別 科 目	当四半期 (平成19年3月期第1四半期)	前四半期 (平成18年3月期第1四半期)	対前四半期増減額	(参考) 平成18年3月期
	金 額	金 額	金 額	金 額
売 上 高	7,336	6,760	575	30,088
売 上 原 価	4,989	4,559	430	20,861
売 上 総 利 益	2,346	2,201	145	9,226
販 売 費 及 び 一 般 管 理 費	1,886	1,998	△ 112	7,932
営 業 利 益	460	202	257	1,294
営 業 外 収 益				
受 取 利 息	20	16	4	74
受 取 配 当 金	3	1	1	43
そ の 他 の 営 業 外 収 益	30	26	3	112
営 業 外 費 用				
支 払 利 息	45	46	△ 0	192
手 形 売 却 損	2	8	△ 6	35
そ の 他 の 営 業 外 費 用	1	6	△ 4	26
経 常 利 益	464	186	278	1,270
税金等調整前四半期（当期）純利益	464	186	278	1,341
法 人 税、住 民 税 及 び 事 業 税	189	59	130	511
法 人 税 等 調 整 額	—	—	—	0
少 数 株 主 利 益	76	76	0	375
四 半 期（当 期）純 利 益	198	50	147	455

(要約) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円未満切捨表示)

期 別		当四半期	(参考)
科 目		(平成19年3月期第1四半期)	平成18年3月期
I	営業活動によるキャッシュ・フロー		
1.	税金等調整前当期純利益	464	1,341
2.	減価償却費	53	214
3.	連結調整勘定償却額	△ 2	△ 10
4.	有形・無形固定資産除却損	0	12
5.	投資その他の資産償却・評価損	0	1
6.	貸倒引当金の減少額	△ 6	△ 69
7.	退職給付引当金の増加額	7	75
8.	その他引当金の増加額又は減少額(△)	1	5
9.	受取利息及び受取配当金	△ 24	△ 118
10.	支払利息	45	192
11.	有価証券売却益	△ 1	△ 438
12.	為替差損又は為替差益(△)	△ 0	2
13.	売上債権の減少額又は増加額(△)	495	△ 143
14.	たな卸資産の減少額又は増加額(△)	△ 756	327
15.	その他営業資産の減少額又は増加額(△)	△ 111	△ 13
16.	仕入債務の減少額	△ 193	△ 19
17.	未払消費税等の増加額又は減少額(△)	△ 2	72
18.	その他営業負債の増加額又は減少額(△)	△ 74	△ 59
19.	役員賞与の支払額	△ 2	△ 2
	小計	△ 106	1,370
20.	利息及び配当金の受取額	49	118
21.	利息の支払額	△ 47	△ 190
22.	法人税等の支払額	△ 360	△ 518
	営業活動によるキャッシュ・フロー	△ 465	780
II	投資活動によるキャッシュ・フロー		
1.	定期預金の預入による支出	—	△ 300
2.	有形・無形固定資産の取得による支出	△ 17	△ 184
3.	投資有価証券の取得による支出	△ 0	△ 1,006
4.	投資有価証券の売却による収入	21	829
5.	貸付けによる支出	△ 1	△ 7
6.	貸付金の回収による収入	1	12
7.	その他の投資による支出	△ 0	△ 3
8.	その他の投資の回収による収入	3	26
	投資活動によるキャッシュ・フロー	7	△ 634
III	財務活動によるキャッシュ・フロー		
1.	短期借入れによる収入	397	1,518
2.	短期借入金返済による支出	△ 418	△ 1,561
3.	長期借入金返済による支出	△ 92	△ 370
4.	預り担保金の受入による収入	903	1,896
5.	預り担保金返済による支出	△ 0	△ 1,722
6.	新株予約権の発行による収入	7	—
7.	新株予約権の行使による収入	93	—
8.	自己株式の取得による支出	△ 0	△ 2
9.	親会社による配当金の支払額	△ 51	△ 56
10.	少数株主への配当金の支払額	△ 8	△ 8
	財務活動によるキャッシュ・フロー	831	△ 305
IV	現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 0	△ 0
V	現金及び現金同等物の増加額又は減少額(△)	373	△ 160
VI	現金及び現金同等物の期首残高	5,143	5,303
VII	現金及び現金同等物の期末残高	5,516	5,143

(セグメント情報)
事業の種類別セグメント情報

当第1四半期（自 平成18年4月1日 至 平成18年6月30日）

（単位：百万円未満切捨表示）

	和装事業	洋装事業	陳列器具の 賃貸業	建物の 賃貸業	その他事業	計	消去又 は全社	連結
I 売上高及び営業損益 売上高								
(1) 外部顧客に対する 売上高	2,682	2,260	1,314	170	909	7,336	—	7,336
(2) セグメント間の 内部売上高又は振替高	12	0	11	81	121	226	(226)	—
計	2,694	2,261	1,325	251	1,030	7,563	(226)	7,336
営業費用	2,728	2,106	1,100	132	985	7,054	(177)	6,876
営業利益又は営業損失 (△)	△ 33	154	225	118	44	509	(48)	460

前連結会計年度（自 平成17年4月1日 至 平成18年3月31日）

（単位：百万円未満切捨表示）

	和装事業	洋装事業	陳列器具の 賃貸業	建物の 賃貸業	その他事業	計	消去又 は全社	連結
I 売上高及び営業損益 売上高								
(1) 外部顧客に対する 売上高	12,066	8,682	5,747	658	2,933	30,088	—	30,088
(2) セグメント間の 内部売上高又は振替高	15	2	48	313	442	822	(822)	—
計	12,081	8,684	5,795	972	3,376	30,910	(822)	30,088
営業費用	12,146	8,688	4,694	610	3,338	29,477	(683)	28,793
営業利益又は営業損失 (△)	△ 64	△ 3	1,100	362	37	1,433	(139)	1,294
II 資産、減価償却費 及び資本的支出								
資産	7,218	3,938	6,804	7,708	1,465	27,134	9,520	36,655
減価償却費	34	1	59	87	30	212	1	214
資本的支出	93	3	20	42	23	184	4	189